

学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について理解し、書き手の主張や目的、手法をとらえることができる。 《具体的な設定例》 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。 ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋を的確にとらえて説明できる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・^ゆ比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。 ・書き手の主張を読み取り、説明できる。 文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、説明したりすることができる。 《具体的な設定例》 ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分や含蓄のある部分について、詳しく説明・解説することができる。
イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。	登場人物の行動や性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方、生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。 情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。 文章の表現技法や語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら読むことができる。 《具体的な設定例》 ・図書館と協力して読書指導を行う。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱・朗読

学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。	などを通して味わうことができる。 ・比喩法を理解し、文章中の比喩とその効果について説明できる。 様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。 筆者の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気づき、自身の考えを広げ、深めることができる。 幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話したり書いたりすることができる。 目的や場に応じて、資料を適切に用いながら、分かりやすく効果的な言葉で話したり、書いたりすることができる。 語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について認識し、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解し、使い分けることができる。 ・言語の主要な機能を理解し、それが社会的、歴史的など様々な領域で実現されていることを理解する。 文章の形態の違いや特色を理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、

学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
	また適切に用いることができる。 ・ 説明的文章に使用される語句のうち難解なもの（概念、普遍、カテゴリー、マクロなど）の意味を理解する。 誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を工夫して書くことができる。 自他の文章への評価を通して、自分の表現を高め、書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。